

I o T時代の電気通信番号に関する研究会（第5回） 議事概要

1 日時 令和元年5月13日（月） 13:30～14:15

2 場所 総務省8階 第1特別会議室

3 出席者

(1) 構成員（敬称略）

相田 仁（座長）、酒井 善則（座長代理）、飯塚 留美、金子 めぐみ、藤井 威生、矢入 郁子

(2) ヒアリング対象者（敬称略）

株式会社NTTドコモ（北島 保宏）、KDDI株式会社（泉川 晴紀、田中 和也）、ソフトバンク株式会社（尾崎 旨樹、折原 裕哉）

(3) 総務省（事務局）

谷脇 康彦（総合通信基盤局長）、秋本 芳徳（電気通信事業部長）、藤田 和重（電気通信技術システム課長）、安東 高德（番号企画室長）、梅城 崇師（番号企画室課長補佐）

4 議事概要

(1) 研究会報告書（案）について

○KDDI株式会社から資料5-1及び5-2について、ソフトバンク株式会社からWireless City Planningの立場において資料5-3について説明が行われたところ、主な質疑等は以下のとおり。

【相田座長】ドコモからは資料の提出はないが、この場で補足すべきことがあれば願います。

【NTTドコモ】資料を出しておらず口頭報告であるが、枯渇が想定される時期の前までに14桁化の準備が可能となるよう計画を進めたい。

【相田座長】資料5-1でKDDIから（14桁化前倒しによる11桁番号の）削減見込みが示されているが、利用者側において14桁化の対応はできそうだと理解してよいか。

【KDDI】資料5-1は当社内で14桁化を前倒して対応することが可能と見込んだ数であり、利用者設備の改修については未考慮となっている。実際には、利用者と相談の上で前倒し対応をお願いしていくことになると考えている。

【飯塚構成員】資料5-2について、対応完了時期が2020年10月までずれ込む可能性があるということだが、延長期間は最大3カ月という理解でよいか。

【KDDI】対応完了時期は2020年7月を目指しているが、基地局の設定変更等を利用者に迷惑をかけないように順番に実施するため、最大でも2020年10月までということ。

【金子構成員】ソフトバンクについても020番号の14桁化の対応時期については問題ないという理解でよいか。

【ソフトバンク】スケジュールに合うように当社内でも対応を進めていく。不可能ではない。

○事務局から資料5-4に基づいて報告書（案）の説明を行ったところ、主な質疑等は以下のとおり。

【藤井構成員】資料5-1において、KDDIは14桁化した020番号を前倒して利用することが可能としているが、NTTドコモやソフトバンクでも前倒し対応は可能なのか。

【NTTドコモ】020番号の14桁化について社内で検討中であり、前倒しについてはその先の検討になるため、詳細が見えてきた段階でその可否も含めて総務省によく相談していきたい。

【ソフトバンク】当社も現在社内検討中であり、遅れるということはないが、前倒しできるということまでは確定していない。今後整理していくなかで明確になるかと思う。

【相田座長】資料26ページに「ITU勧告においては、新規のIMS I申請に当たり、当該申請者は既存MNC使用等の代替策を講じることができないことを提示することが求められている。」とあり、今般これを我が国でも適切に実施していくべきという趣旨の提言が明記されておりわかりやすい。

【酒井座長代理】今回の検討とは直接は関係ないかもしれないが、IPアドレスや電話番号など様々な識別子がある中で、通信事業者の利用者は電話番号で管理されることが多い。IPアドレスは一気に容量を拡大することができるが、電話番号はじわじわと拡大する対応となっているという違いがある。また、現在のユニバーサルサービス制度に係る利用者の負担については番号単位で計算を行っている。現在のユニバーサルサービス制度の対象には020番号は含まれていないが、（仮に020番号がユニバーサルサービスの対象になり、）020番号が全体の番号の大多数を占めることになった際に、その負担を考えると「利用者」を番号単位で捉えるのかそれとも何か別の単位があるのかを整理する必要も今後生じるのではないかと感じている。

【安東番号企画室長】御指摘のとおり、020番号については多様なM2M環境で使用されており、どの単位が「利用者」であるのかという点は、通常の人間の関係とは異なるカウント方法が必要になるということかと思う。今後、020番号やIMS Iについて使用方法が多岐にわたることが想定され、その際の「利用者」の考え方についてはよく検討する必要があると認識している。また、ユニバーサルサービス制度との関係については、現在020番号はデータ通信専用となっているためその対象外とされており、ユニバーサルサービス制度の在り方については別の場でも議論されているので、その議論等も踏まえながら020番号の位置付けを見ていく必要があると考える。

【相田座長】IPアドレスについて、IPアドレスとMACアドレスと利用者が1:1:1に対応している形態がわかりやすいが、DHCPでIPアドレスを使い回すといったことを行っている。電気通信番号についても、eSIMによってIMS Iを含めた使い回しも考えられ、（ユニバーサルサービス制度の対象としてお金を取るような場合、）何を単位として数えるべきかという点は今後の

課題になるかと思う。

【相田座長】この際出席している事業者3社から報告書（案）についてコメントはあるか。

【NTTドコモ】可能な限り枯渇の時期に合わせて対応していきたい。また、利用者に（14桁番号を）提供したとしても利用者の事情もありすぐに対応できないところもあるが、その点についても我々の意見を踏まえ今回の報告書（案）で盛り込んでいただいております、十分に意見が反映されている。この内容で当社としても対応を進めていきたい。

【KDDI】ヒアリングの内容も十分に反映されており、この内容に沿った形で社内検討を進めていきたい。

【ソフトバンク】MNCの3桁化に関しては当社がほぼ中心になる話題であったかと思う。前回の研究会での御議論を踏まえて社内各部署とじっくり議論を行い、それを踏まえて今回の「案3」の提案を提出した。これが報告書（案）にも反映され、「適当である」と整理されていることは良かったと思う。

【安東番号企画室長】利用者側の設備の対応という点は、報告書（案）にも記載したとおり、十分な周知を行っていくことによって、「知らなかった」という企業や利用者がいないようにしていくことが大変重要だと総務省としても認識をしている。

【金子構成員】Wireless City Planningの資料にある案3において、新たなサービスについては見込んでいないということであったが、可能性としてはどの程度あるのか。

【ソフトバンク】現時点ではないということを確認している。ただ、関係部署からは、「今後ないとまでは言い切れない」とも言われている。

【金子構成員】MCC=441のMNCの3桁化は、一連の議論を通じ必須だと実感している。一方でWireless City Planningのみ負担を負うことについて懸念していたので、今回の報告書（案）の整理は良い案である。研究会での意見を踏まえて前向きに考えた案を今回頂戴したことはありがたい。

【ソフトバンク】今後のサービス展開については、電気通信番号使用計画の中で総務省から確認を受けていくことになるかと思う。その中で、将来的にどのように取り扱っていくかについても意識を共有しながら進めていきたい。

【飯塚構成員】報告書（案）の第3章について、3.5.2及び3.7.3の部分で記載されている「指定済み11桁番号による新規付番の禁止」や「070/080/090番号によるM2M等サービスへの新規の付番の禁止」等の5点の対応すべき事項について、今回の整理を円滑に実施するためにも、電気通信番号使用計画によりその進捗管理を厳格に進めてほしい。また、電気通信事業者においては、利用者への事前説明や周知を徹底していただく点について協力をお願いしたい。

(2) その他

○相田座長から、報告書（案）について修正意見はなく資料5-4のとおり意見公募を行い、提出意見も踏まえた上で報告をとりまとめた旨の発言があり、構成員か

- ら了承された。
- 事務局から、今後約1か月間の意見公募を行い、その後に次回会合を6月27日(木)に開催予定である旨連絡した。

以上